

(その1)

地球温暖化対策結果報告書

1 地球温暖化対策事業者等の概要

(1) 地球温暖化対策事業者等の氏名等

地球温暖化対策事業者等の氏名 (法人にあっては名称及び代表者又は管理者の氏名)	武蔵野市 市長 邑上守正
地球温暖化対策事業者等の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	武蔵野市緑町2-2-28

(2) 事業所の概要

事業所の名称		武蔵野クリーンセンター		
事業所の所在地		東京都武蔵野市緑町3-1-5		
業種等	事業の業種	分類番号	R96 R:公務'他に分類されない' ▼ 地方公務 ▼	
		産業分類名	地方公務	
	事業所の種類	主たる用途	部門分類	<input checked="" type="radio"/> 産業 <input type="radio"/> 業務
			<input type="radio"/> 工場 <input type="radio"/> 熱供給施設 <input type="radio"/> 上水道・下水道施設 <input checked="" type="radio"/> 廃棄物処理施設	
<input type="radio"/> 事務所 <input type="radio"/> 商業施設 <input type="radio"/> 宿泊施設 <input type="radio"/> 教育施設				
		<input type="radio"/> 医療施設 <input type="radio"/> 文化施設		
		<input type="radio"/> その他 ()		
	建物の使用形態	<input type="checkbox"/> テナントビル等に該当		
事業の概要		武蔵野市内から排出される一般廃棄物の処理(中間処理) 可燃ごみの焼却 不燃・粗大ごみを破砕・金属選別後焼却		
主なテナント事業者等の概要 (テナントビル等の場合に記載)		(1) テナント事業者等の名称		
		(2) テナント事業者等の名称		
		(3) テナント事業者等の名称		
敷地面積		17,000	m ²	
建物の延べ面積		10,979	m ²	

(3) 担当部署

計画の担当部署	名称	武蔵野市環境生活部クリーンセンター	
	連絡先	電話番号	0422-54-1221
		ファクシミリ番号	0422-51-9194
		電子メールアドレス	cnt-clean@city.musashino.lg.jp
公表の担当部署	名称	武蔵野市環境生活部クリーンセンター	
	連絡先	電話番号	0422-54-1221
		ファクシミリ番号	0422-51-9194
		電子メールアドレス	cnt-clean@city.musashino.lg.jp

(その2)

(4)地球温暖化対策結果報告書の公表方法

公表期間	平成22年7月1日 ~ 平成22年12月31日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス: http://www.city.musashino.lg.jp/cms/sisaku/00/01/19
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所: 武蔵野クリーンセンター
		所在地: 武蔵野市緑町3-1-5
		閲覧可能時間: 8:30 ~ 17:00
	<input type="checkbox"/> 冊子	冊子名:
	入手方法:	
<input type="checkbox"/> その他		

2 計画期間

17 年度 ~ 21 年度

3 温室効果ガスの総排出量の状況

(1) 計画期間の最終年度の温室効果ガスの総排出量 単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
2,161						2,161

(2) 基準排出量及び計画期間の最終年度までの温室効果ガスの総排出量の推移 単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
総排出量	2,928	2,591	2,446	2,384	2,248	2,161
基準排出量 比増減率		12%	16%	19%	23%	26%

4 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況(総括)等

(1) 温室効果ガスの排出の量 (計画終了年度: 21 年度)

ア 計画期間の最終年度の温室効果ガスの排出の量 単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
2,161						2,161

イ 計画期間の最終年度の建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量の状況等
(業務部門に該当する場合のみ記載)

建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量	196.8 kg/m ² ・年
建物の延べ面積当たりのエネルギー消費量	4,930 MJ/m ² ・年

ウ 基準排出量及び計画期間の最終年度までの温室効果ガスの排出の量の推移 単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	2,928	2,591	2,446	2,384	2,248	2,161
基準排出量 比増減率		12%	16%	19%	23%	26%

(2) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況及び目標の達成状況

対策分類ごとの措置の実施 状況(実施の有無)	基本対策	●すべて完了 ○一部完了 ○未実施 ○計画なし
	うち、運用対策	●すべて実施 ○一部実施 ○未実施 ○計画なし
	目標対策	●すべて完了 ○一部完了 ○未実施 ○計画なし

目標の達成状況	推計実績削減量(目標対策分)	159 t-CO ₂
	推計実績削減率(目標対策分)	5.4%
基準年度中に完了した削減対策のうち、目標対策に相当するものの実施による削減率		5.4%

(その3)

5 自動車等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況(総括)

(1) 温室効果ガスの排出の量

ア 計画期間の最終年度の温室効果ガスの排出の量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計

イ 基準排出量及び計画期間の最終年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量						
基準排出量 比増減率						

(2) 温室効果ガス排出の抑制に係る措置の実施状況

排出の抑制に係る措置の実施状況	<input type="radio"/> すべて完了 <input type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input checked="" type="radio"/> 計画なし
-----------------	--

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況等に関する自己評価

(1) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況等の総括

1. 本計画書制度の順調な実施

計画書(案)策定段階に検討された案について、可能なものから順次実施してきた。都よりアドバイスをいただいた対策についても同様に実施し、当初の目標を大きく上回った。対策の実施状況については、テクニカルアドバイザーによる進行状況確認を行った。

2. ISO14001の認証

武蔵野市では、平成11年度に武蔵野市環境基本計画を制定し、同時に同計画の総合的かつ計画的な推進とともに自ら環境への負荷の低減に取り組むため、武蔵野市環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、同年度にEMSに関する国際規格であるISO14001の認証を受けている。平成12年度には武蔵野クリーンセンター単独で認証を受け、継続して更新し、エネルギーの取り組みを進めている。

3. 全市的(武蔵野市)なごみ減量活動

武蔵野クリーンセンターでは毎年順調に温室効果ガス排出を削減している。これは、ごみ減量による運転時間減少に伴う消費電力の減少が大きく関係している。ごみ減量に関して、武蔵野市では市民・企業・行政の協働によりごみ減量活動《セカンドステージ!ごみチャレンジ600グラム、レジ袋削減キャンペーンなど》を行っている。

(2) 次期計画期間における取組方針

現施設は稼動から25年が経過し、建て替えを検討しているため、温室効果ガスの排出量削減対策は、運転管理の改善などのソフト面に重点を置き、設備投資は耐用年数に合わせた更新にとどめる。

当施設の温室効果ガス排出量は、武蔵野市のごみ排出量と大きく関係している。武蔵野市ごみ処理基本計画に基づき、市民・企業・行政の協働により、平成29年度までにごみ焼却量を5000t削減する目標を達成すれば、さらに運転時間を短縮し、温室効果ガス排出量を削減することが可能である。

新施設においては、発電等の余熱利用方策を軸とすることで、電力使用量が大幅に減少し温室効果ガス排出量の大幅な削減が可能となる。なお、試算ではメンテナンス時等を除いて東京電力からの買電が不要になるため、稼動に伴う電力消費による温室効果ガス排出量が大部分を占める当施設では、単純計算で総排出量の基準年度比増減率は約95%以上となる見込みである。

(その4)

7 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標の達成状況(個表)

(1) 基本対策及び目標対策

対策 No	対策の名称 (建物ごとに選定した場合は、建物の名称 も記載すること。)	対 策 レベル	追加 年度	計画時の削 減効果の見 込量(t)	達成状況		備 考
					推計実績削 減量(t)	推計実績削 減率 (%)	
1	水銀灯用安定器の更新改善	基本対策 ▼		10	10	0.33%	
2	照明の適正化による改善	基本対策(運用) ▼		11	11	0.36%	
3	建築設備誘導灯を省エネ型(高輝度型)への更新	目標対策 ▼					更新整備費用の予算捻出ができなかった為、計画期間外へ延期
4	施設内浴室にシャワーヘッド及び手洗場に節水コマ採用	目標対策 ▼		0	0		
5	空調設備の運用改善(運転時間の短縮他)	基本対策(運用) ▼		21	21	0.71%	
6	焼却炉運転管理の改善(3炉運転の削減)	目標対策 ▼		25	37	1.26%	
7	給気ファン(空調設備)のファンベルトを省エネ型へ更新	目標対策 ▼		12	12	0.39%	
8	投入扉用油圧ポンプの運用改善	目標対策 ▼		4	4	0.12%	
9	焼却設備各コンプレッサの運用改善(系統の見直し)	目標対策 ▼		34	34	1.16%	
10	空調設備各送風機類のインバータへの更新	基本対策 ▼		84	94	3.21%	
11	空調設備各ポンプ類のインバータへの更新	基本対策 ▼		9	16	0.53%	
12	焼却設備各送風機類の高効率電動機への更新	目標対策 ▼		14	6	0.18%	完了資料B-7
13	焼却設備各ポンプ類の高効率電動機への更新	目標対策 ▼		10	9	0.30%	完了資料B-8
14	白煙防止用送風機のインバータへの更新	基本対策 ▼		41	38	1.30%	
15	BF用空気圧縮機(CP)のインバータへの更新	目標対策 ▼	20	60	58	1.99%	

(その5)

(2) 再生可能エネルギーの導入に係る措置

ア 再生可能エネルギーの導入に係る考え方

現施設は稼働から25年が経過し、新施設の建て替え計画中のため、再生可能エネルギーの導入は考えていない。
新施設では、ごみ発電の他に太陽光発電、屋上緑化などの導入により環境負荷の低減を図る予定である。

イ 再生可能エネルギーの導入計画及び前年度末における導入実績
(事業所内で設備導入を行うものに限る。)

再生可能エネルギーの種類(発電)	単位	実績導入量	計画導入量	概要(導入時期、規模、方法等)
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			

再生可能エネルギーの種類(熱利用)	単位	実績導入量	計画導入量	概要(導入時期、規模、方法等)
	GJ			
	GJ			
	GJ			
計	GJ			

8 事業所内で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係るその他の措置

(1) 事業所における再生可能エネルギーの環境価値の保有

種類	単位	実績導入量	計画導入量	概要(導入時期、規模、方法等)
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			

(2) その他の取組

事項	取組概要	
テナント事業者等への還元のための措置		
廃棄物の削減	分別の徹底、裏紙の使用など	削減予定量 t 実績 t
グリーン調達	武蔵野市では、平成8年に「グリーン購入推進指針」を策定し、環境に配慮した製品を選択する指針を明らかにすると共に、物品購入、再生紙使用等についての基本的な考え方や、製品の選択基準を示す「環境に配慮した製品選択ガイド」により、グリーン購入に取り組んでいる。	
物流の効率化		
その他、社員の通勤における削減対策等		

(その6)

9 自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の進捗状況及び目標の達成状況等(個表)

(1) 自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況及び目標の達成状況

対策 No	対策の名称	計画			達成状況		備考
		対策導入率等		削減効果 の見込量 (t)	導入率 等	対策完了に よる削減効 果の量(t)	
		現状	目標				

(2) 自動車等に係るその他の事項

--

(その7)

10 事業所外で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

事項		(達成状況)				
都内で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策		削減量	見込	実績	t-CO2
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策					
	植林、緑化等		導入量	予定	実績	m ²
	その他					
都外で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策		削減量	見込	実績	t-CO2
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策					
	植林、緑化等		導入量	予定	実績	m ²
	その他					
上記以外で、他の事業者、消費者等の温室効果ガスの排出の抑制に寄与する取組等						